



1909年製 フォード モデルSR ロードスター



製造情報

製造商	フォード自動車
組付工場	ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	7,728
総生産量	10,660
馬力	22
重量	1200ポンド/544キログラム
当時売価	\$850

イノベーション(ポイントのみ)

軽量でより強度があるバナジウム鋼を使用
シリンダーブロックとシリンダーヘッドを分離
フライホイール・マグネト一点火システム
起伏の多い道に対応したスリーポイント・サスペンション(3点支持)
2速遊星式トランスミッション

世界を変えた!

モデルTは、1909年にフォードが提供した唯一の車である。1908年10月に登場したこのモデルは、それまでのフォード車に比べて全く新しい車であった。エンジンのヘッドは取り外し可能で、車体の部品は木材、鋼、アルミ材を使用していた。ボディタイプは、ツーリング、ラナバウト、クーペ、タウンカー、ランドーレットの5種類があった。また、モデルTは酷いわだちや起伏の多い道に適していた。1909年には1万1000台近く生産され、ビュイックに次いで2位の売上台数であった。モデルTは、フォードにおける製造に多くの変化をもたらした。生産開始後、フロントガラスやアセチレンランプに加えて様々な付属品が提供された。モデルT生産開始当初の2500台には細かな違いがあるため、自動車の歴史学者および収集家によって貴重なものとみなされている。

ラリー・D・ポーター収蔵品

この車は、ラリー・D・ポーター収蔵品からフォード・ピケット・アベニュー工場に貸し出された数多くの「アルファベット名の車」のうちの一台中の一台である。そのコレクションは、フォード・モーター・カンパニーが1903年にマック・アベニューで製造した車、そして1904年から1910年にかけてフォード・ピケット・アベニューの組み立て工場で製造した車をすべて揃えている。ピケット工場は、この収蔵車の展示を可能にしてくれたラリー・D・ポーター収蔵品に対し、非常に感謝している。